

## 職業奉仕4つの反省ラーニング 報告書

日 時：2024年7月24日(水) 17時30分～20時00分

場 所：伊勢崎プリオパレス2F

参加者総数：37名

担当委員等：担当理事 新井良和、職業奉仕ラーニング委員長 丸橋幹  
委員 久保木雅彦、委員 城田丈紘  
・・・4名

入会5年以下：松浦大耕、下田 仁、笈川貴士、伊藤進太郎、塩谷孝行、内山陽介、  
塩野央弥、関根孝彦、浅野正史、蜂須崇史、茂木政樹、佐藤賢  
・・・12名（入会順）

入会6年以上：森田高史 P G、小此木正博 会長、原敬 直前会長、中川一 会長エクト、  
関 徹也 会計、五十嵐秀行、唐沢かおり、加藤学、川端護、久保貴則、  
松島郁夫、峯岸則幸、宮澤秀利、須藤正也、多部田敬三、高橋郁夫、  
武井秀明、山崎由紀雄、柳井正臣、矢尾 隆、由井政喜  
・・・21名（順不同）

目的：ラーニングにて職業奉仕4つの反省について学ぶ

（R L I形式のディスカッション）

その後の懇親会にて職業奉仕などのロータリー談議をしつつ懇親を深める

次第：

17：30 開会、会長挨拶

17：35 第一部 『職業奉仕4つの反省』の原文紹介・・・丸橋委員長

1972年に職業奉仕4つの反省がザ・ロータリアンに載った時代の時代背景

17：45 R L I形式による職業奉仕・4つの反省ディスカッション

・・・新井担当理事

18：30 懇親会

乾杯・・・森田パストガバナー

『マンガ奉仕の理念を未来へ繋ぐ』の紹介・朗読・・・丸橋委員長

締め・・・川端パスト会長

20：00 閉会

7月24日 17時30分より開会、小此木会長の挨拶から始まり、第一部は『職業奉仕4つの反省』の原文紹介をいたしました。



職業奉仕4つの反省原文

「The Rotarian」誌の1967年2月号から1973年12月号まで、「INSIDE ROTARY」というコラムが掲載されました。その1972年9月号に「職業奉仕とは何ですか？」と文章が掲載され（左記）、それを前原勝樹パストガバナー（桐生RC）が「職業奉仕・4つの反省」というタイトルで翻訳されたのが始まりです。

先程のコラムが掲載された1972年の時代背景も説明しました。（田中角栄氏が首相に就任。「列島改造」、沖縄返還、札幌冬季オリンピック、ベトナム戦争激化、など。



続いて17時45分より新井担当理事をディスカッションリーダーに迎えて「職業奉仕 四つの反省」（右記）を元に「RLI形式による職業奉仕・4つの反省ディスカッション」です。若手の会員からは「職業奉仕 四つの反省」に書かれてる事は本当に出来ているか改めて考えさせられる。ベテラン会員からは、ロータリーの会員になるような人は当たり前に出てくるのでタイトルの反省という言葉に違和感を感じるなどの意見が交わされました。



そして、18時30分より懇親会。森田パストガバナーによる乾杯から始まり、『マンガ奉仕の理念を未来へ繋ぐ』をスクリーンに映しながらの音読、最後は川端パスト会長による締めで終了いたしました。

その後は二次会に多数参加頂き大いに盛り上がりロータリー談議に花を咲かせました。

（報告者：職業奉仕ラーニング委員長 丸橋 幹）